

浜岡東小学校 沿革・学区・校歌

沿革

明治 6年11月	比木、佐倉、宮内の三ヶ村をもって一学区とし、佐倉小学校と称し、佐倉村官長寺を校舎に当てる。比木分校は、4月に会下の谷正福寺客殿に開設する。
明治22年 5月	佐倉村に村立佐倉尋常小学校を設置する。
明治23年10月	改正小学校令により比木分校が比木尋常小学校となる。
昭和30年 4月 1日	町制施行により浜岡町立佐倉小学校、浜岡町立比木小学校となる。
昭和49年 4月 1日	佐倉小学校、比木小学校を統合し、浜岡東小学校として発足する。 旧比木小学校を校舎にあてる。
昭和50年 3月17日	校歌・校章発表会
昭和50年 6月24日	新校舎落成式・移転
昭和53年11月 9日	文部省指定 体力づくり研究推進発表会
昭和55年 1月24日	静岡県学校給食優良校表彰
昭和61年 4月 1日	静岡県教育委員会指定 いじめ防止校内研究実践校
平成 2年11月27日	静岡県教育委員会指定 教育課程研究発表会
平成 9年 4月 1日	県社会福祉協議会指定 県福祉教育実践校
平成11年10月28日	静岡県教育委員会指定 人権教育研究発表会
平成13年 4月 1日	県社会福祉協議会指定 県福祉教育フオー校
平成15年 4月 1日	エネルギー研究協力校に指定される。
平成16年 4月 1日	市制施行により御前崎市立浜岡東小学校と改称する。
平成19年 4月 1日	市指定研究「授業改善」平成19年度・平成20年度
平成22年12月15日	プール改修工事竣工
平成24年 3月26日	外トイレ、体育器具室立替工事竣工
平成25年 4月 1日	市指定研究「個性伸長教育」平成25・26年度

学区

静岡県の中西部の南端に位置し、牧ノ原台地の最南端にある。北東は、牧之原市と接しており、南は黒潮が流れる太平洋の遠州灘に臨んでいる。

校区は佐倉地区と比木地区から成り、稲作や畑作、花卉や茶の栽培が盛んである。現在は、専業農家は少なく、兼業農家や会社勤めの家庭が多くなった。また、原子力発電所が学区にあり、関連企業も多く進出している。

校歌

浜岡東小学校校歌

秋定千尋 作詞
松下巳作 作曲
宮城克郎 補作

一 緑の松に 輝く光

ひとみに 朝の日がおどる
みんな仲よく 手をつなぎ
清く正しく さわやかに
伸びゆく 浜岡東小学校

二 はるかな空に はばたくいのち

望みひろがる 富士の山
みんな元気に 胸はって
強くおおしく すこやかに
伸びゆく 浜岡東小学校

三 遠州灘の 海青く

黒潮かおる 砂丘の上
みんな友だち 輪になって
こころやさしく おおらかに
伸びゆく 浜岡東小学校

浜岡東小学校校歌

秋定千尋 作詞
松下巳作 作曲
宮城克郎 補作

- 一 緑の松に 輝く光
ひとみに 朝の日がおどる
みんな仲よく 手をつなぎ
清く正しく さわやかに
伸びゆく 浜岡東小学校

- 二 はるかな空に はばたくいのち
望みひろがる 富士の山
みんな元気に 胸はって
強くおおしく すこやかに
伸びゆく 浜岡東小学校

- 三 遠州灘の 海青く
黒潮かおる 砂丘^おの上
みんな友だち 輪になって
こころやさしく おおらかに
伸びゆく 浜岡東小学校